

2020～2022年度 中期活動方針



私たち自身も、また周りの人たちもいつまでも生き生きと暮らすために、持続可能な社会づくり、持続可能な企業づくりをミズノグループ丸となって推し進めていきます。グループ内外での相互扶助の為にシステムの構築と様々な活動によって実現していきます。

【具体的な活動内容】

①働く環境の改善 (グループ内従業員の組合員化の実現と問題解決システムの再構築)



- I) ミズノ・ミズノテクニクス内の未加入従業員の組織化
- II) グループ内子会社の労働組合設立
- III) それぞれの組織における連携システムの構築
- IV) 問題発生時の自己解決システムの構築 (役員力の強化を含む)
- V) グローバル枠組み協定 (GFA) の進展 (ミズノのサプライヤーとの共同)

一緒に働く仲間として、グループ内における労働条件の向上や安全衛生確保などは現メンバーの関心も高いようです。同一労働同一賃金の議論の高まりに加えて、外部組織を活用しての問題提起といった事例も出てきています。従業員の苦情や会社の問題点の改善は企業内労働組合として労使で共同して取り組むべきで、全員がユニオンメンバーとなり自分たちで問題解決に取り組んでいくことが望ましいと考えます。ユニオン役員とのさらなるリーダー力強化とともに、メンバーへの活用のための整備を行っていきます。またミズノの商品に携わるすべての仲間への関心を高め、発注元責任のもと持続可能な働く環境づくりに取り組んでいきます。

②MIZUNO で働くことの幸せの追求 (We love MIZUNO project【WLMP】の進化)



- I) 第1期 We love MIZUNO Project の検証と総括
- II) 第2期 We love MIZUNO Project の立案と実施
- III) 「企業付加価値向上=労働組合運動」の理論形成

3年の活動を終えたWLMP。活動も発展してきていますが、参加者の偏りや費用対効果やできていない活動(内容の偏り)等の検証を強化します。さらなる展開のための準備期間とし、継続的な活動を進めつつ新たな展開を並行して企画していきます。また企業付加価値の向上を目指し、会社と共に「ミズノで働いてよかった」と思うことができる活動に取り組んでいきます(例:コーポレート・ゲームズを活用し、UAゼンセンの仲間への展開によって客観的な労働組合運動をメンバーに体感してもらいます)

③スポーツ産業で働くことでの幸せの追求 (産業発展とスポーツでの地域創成活動への取り組み)



- I) UAゼンセン(上部団体)のスポーツ産業政策推進活動への参加
- II) スポーツ産業発展に取り組む意義とミズノで働く「働き甲斐」の再認識
- III) スポーツを活用した地域づくり

産業の健全な発展なしには個社の利益確保の継続は難しいと考えます。スポーツ産業の発展は業界だけでなく、超高齢化社会などの日本社会の抱える様々な問題を解決できる力を持っていると信じています。事業としての産業発展とともに、労働組合運動でそれらのコトにかかわる機会を増やしていきます。スポーツ産業発展を通じて、健康で生き生きとした人生を送ることができるよう、また共生社会や健康長寿社会の実現に向け、労働組合活動を0s利用してメンバーの皆様の社会貢献への取り組み支援をしていきます。このような活動から、スポーツ業界で働く喜びを感じてもらえるよう取り組んでいきます(例:ウォーキングサッカーの普及活動を通して実体験の場を作ります)

持続可能な開発目標 (SDGs) とは?

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際開発目標です。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)な目標です。



詳しくは「SDGs」で検索
SDGs 検索